

2019-2024
桑名市男女共同参画基本計画
令和3年度 実施計画実施報告書

桑名市

目 次

はじめに	1
1. 桑名市男女共同参画基本計画の体系	2
2. 桑名市男女共同参画審議会による評価・提言	3
3. 桑名市男女共同参画基本計画実施計画実施報告	4
① 事業総括	5～6
② 事業一覧	7～17
I みんなが力を発揮できる社会の実現【個人】	7～10
1 男女共同参画への理解の深化	7
2 教育・学習の充実	8
3 政策・方針決定過程における男女共同参画の推進	9
4 家庭や地域における男女共同参画の促進	10
II 働きやすい社会の実現【職場】	11～13
1 男性中心型労働慣行の見直しとワーク・ライフ・バランスの推進	11
2 就労の場における男女共同参画の促進	12
III みんなが安心して生活できる社会の実現【地域社会】	14～17
1 人権が尊重され、安心して生活できる施策の推進	14
2 健康づくりへの支援	15
3 男女共同参画を阻む暴力の根絶	16
4 男女共同参画の視点に立つ、地域の課題解決への取り組み	17

はじめに

この実施報告は、桑名市男女共同参画推進条例第10条の規定に基づき、桑名市が実施した施策等の状況について報告をおこなうものです。

男女共同参画に関する施策を効果的に推進していくために、毎年度、施策の実施状況について報告書を作成し、公表することによって、男女共同参画の推進状況を明らかにし、市民や事業者の皆様と協力・連携を図りながら、桑名市における男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきます。

(施策の実施状況等の公表)

第10条 市は、毎年度1回、基本計画による施策の実施状況について、報告書を作成し、公表するものとする。

実施報告書の構成

① 「桑名市男女共同参画基本計画」計画の体系

男女共同参画の推進にあたっては、基本計画に基づき、3つの推進目標のもとに取り組みを進めています。

② 桑名市男女共同参画審議会による評価・提言

桑名市男女共同参画審議会による令和3年度の各施策の取り組みの成果に対しての評価・提言を掲載しています。

③ 「桑名市男女共同参画基本計画」実施報告

令和3年度実施計画に対して、「事業総括」として推進目標別の取り組みと課題を掲載しています。

また「事業一覧」として「桑名市男女共同参画基本計画・実施計画」に掲げる事業について、担当課に対してヒアリング等を行った上で、令和3年度の実施状況を取りまとめ掲載しています。

桑名市男女共同参画審議会では、この実施報告をもとに評価・提言につなげています。

1. 桑名市男女共同参画基本計画の体系

推進目標	主要課題	施策の方向
I みんなが力を 発揮できる 社会の実現 【個人】	1 男女共同参画への理解の深化	①男女共同参画を知り、正しく理解する啓発の強化 ②男女共同参画についての調査・研究、情報提供
	2 教育・学習の充実	①学校等における男女共同参画教育の推進 ②生涯を通じた学習機会の充実
	3 政策・方針決定過程における 男女共同参画の推進	①審議会・委員会等への女性の登用の推進 ②男女共同参画の視点に立った人材の育成・確保
	4 家庭や地域における 男女共同参画の促進	①家庭における男女共同参画のための啓発 ②地域活動への参加の促進
II 働きやすい 社会の実現 【職場】	1 男性中心型労働慣行の見直しと ワーク・ライフ・バランスの推進	①柔軟な就労形態と働き方改革の推進 ②仕事と家庭・地域生活との両立支援 ③男女が働きやすい職場環境の整備
	2 就労の場における 男女共同参画の促進	①男女の均等な機会と待遇の確保の推進 ②方針決定過程への女性の登用推進 ③職業能力の開発や再就職への支援 ④家族的経営における働きの評価と、仕事と生活の 調和の促進 ⑤女性活躍推進法の周知 ⑥女性の起業及びキャリア形成への支援
III みんなが安心 して生活できる 社会の実現 【地域社会】	1 人権が尊重され、安心して 生活できる施策の推進	①人権に対する正しい理解の促進 ②困難を抱える方への支援策の充実
	2 健康づくりへの支援	①生涯にわたる健康づくりへの支援 ②妊娠、出産期等(産後も含む)における女性の 健康への支援
	3 男女共同参画を阻む 暴力の根絶	①ドメスティック・バイオレンス、各種ハラスメント等の 防止・啓発の推進 ②相談体制、被害者救済体制の充実
	4 男女共同参画の視点に立つ、 地域の課題解決への取り組み	①地域における男女共同参画の促進 ②防災・復興支援対策における男女共同参画の推進

2. 桑名市男女共同参画審議会による評価・提言

評価・提言
<p>男女の固定的な役割分担意識に関する意識(「男は仕事、女は家庭」という考え方に対する意識)について、講座等の参加者だけでなく、幅広く市民の意見を聞く機会を設けるなど実情の把握に努めていただきたい。</p> <p>また意識の調査だけでなく、様々な意識を持った方の実際の行動についても調査する等、調査範囲の拡大や取り組みの検討を進めていただきたい。</p>
<p>図書館での男女共同参画に関する展示において、図書だけでなくDVDも配架したこと、映画をテーマとして考えを掘り下げたことは良い取り組みである。映画やドラマなどの身近な素材を男女共同参画やジェンダーの視点から見ることで、様々な考えや意見が深まるのではないかと考える。誰もが関心を抱きやすい内容を取り入れるなどの工夫を行い啓発に努めていただきたい。</p>
<p>学校での人権教育等をとおして、子どもたちは多様性を受け入れ、他者の思いを尊重し、話が聞けるようになってきていると感じる。学校での学びを家庭や地域に持ち帰り、親世代・祖父母世代との意見交流が行われている。</p> <p>子どもたちをとおして、世代を超えて市民一人ひとりが個性や違いを認め合う大切さや多様性について考えられる良い機会である。子どもたちの学びは大人たちに良い影響をもたらしている。</p>
<p>審議会等への女性登用について、計画最終年度の目標である女性登用率 37%に向けて、女性委員がいない、女性委員が少ない審議会等の現状と課題を把握し、女性の登用率の増加に努めていただきたい。</p>
<p>企業の就職説明会において、男子学生から「育児休業が取得できるか」との質問が出るなど、次世代の男女共同参画意識は大変高くなっている。男性の育児休業等の取得促進、管理職への女性登用促進などに取り組むことが重要であると感じる。より一層、市・企業ともに、次世代が働きたいと思える職場環境の整備に努めていただきたい。</p>
<p>地域活動への女性の参画が少ないように感じる。多様化する地域課題に対応していくためには、様々な視点から課題を解決することができる多様な人材の確保が必要となる。女性をはじめ多様な人材が地域活動に参画できるような風土づくりが非常に重要である。</p>

3. 桑名市男女共同参画基本計画 実施計画実施報告

① 事業総括

② 事業一覧

I みんなが力を発揮できる社会の実現【個人】

II 働きやすい社会の実現【職場】

III みんなが安心して生活できる社会の実現【地域社会】

①事業総括

令和3年度実施計画に対する事業の報告

「桑名市男女共同参画基本計画 令和3年度実施計画」に基づき実施されました推進目標別実施事業の取り組み及び課題の概要については、以下のとおりです。

令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)拡大の影響により、様々な事業において規模の縮小や中止などの対応をせざるを得ない状況となりました。しかしながらオンラインを活用した講座の開催など、新しい生活様式に沿って新たな方法を創意工夫しながら各施策に取り組みました。

I みんなが力を発揮できる社会の実現【個人】

映画上映会、講座等については、感染症拡大の影響により中止となったものがありました。対面形式での啓発活動が難しかったため、他所属と連携し市民が集まるイベント開催に併せて啓発パネルの展示・パンフレットの配布等の事業を充実させ、男女共同参画への理解を深める啓発や情報提供を行いました。展示だけでなく市民が意見参加できるコーナーを設置する等の工夫を行いました。また、学校教育や生涯学習を通じて市民の男女共同参画意識を高めるため、オンラインで講座等を開催し学習機会の充実に努めました。

男女共同参画社会の実現のためには男女がともに政策・方針決定過程に参画し、さまざまな視点をもって課題解決をしていくことが重要です。市では多様な人材の登用につながるよう「附属機関等の設置及び運営に関する指針(平成26年4月1日施行)」における委員の上限年齢の選任基準を廃止しました。審議会等における女性登用率は令和3年度調査で32.5%であり、2年度に比べ1.5ポイント上昇しました。今後も定期的に調査を実施し、委員登用において女性の参画が進むよう働きかけます。

事業名	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
審議会等への女性参画比率の向上	30.4%	31.3%	31.0%	32.5%

男女共同参画を推進する人材を育成するための人材育成講座、家庭における男女共同参画促進のため男性及びその家族を対象とした家事・育児に関する講座等を開催しました。男性が家事・育児へ参画することで、女性の社会での活躍はもとより、男性の家庭・地域での活躍推進につながるよう、家族で家事・育児について学ぶ機会を充実させました。政策創造課主催の講座等の満足度は97.6%、理解度は100%と大変高くなっています。

また長期化するコロナ禍において地域活動に参加することが難しい現状ではありますが、人とのつながりの大切さも再認識されており、地域活動への参加意識の醸成のため自治会等へ情報提供を行いました。

今後も、一人ひとりが性別などの属性に関わらず、様々な場面において個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、啓発や情報提供、学習機会の充実に努めます。

II 働きやすい社会の実現【職場】

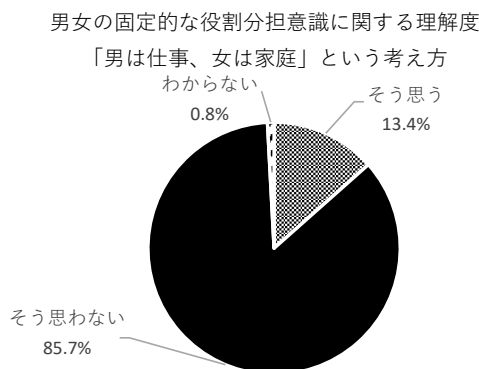
事業所に対し啓発資料の配布や内閣府等からの情報提供を行うなど、働き方改革やワーク・ライフ・バランスの推進等につながる働きかけを行いました。共働き家庭等に対して仕事と家庭生活との両立支援のため、乳幼児一時預かり事業、放課後児童対策事業(学童保育)等を行いました。

また結婚や出産を機に離職した女性や、コロナ禍で就労において大きな影響を受けた女性の再就職・キャリアアップを支援するため「女性の就職サポート事業」をオンラインにて実施しました。キャリアデザインやパソコンスキル等の講座を開催し能力開発、再就職支援、キャリア形成支援を行いました。

政策創造課主催の事業時に実施したアンケートでの男女の固定的な役割分担意識に関する理解度(「男は仕事、女は家庭」と思わない割合)は85.7%であり理解も進んできましたが、引き続き性別に関わらずその能力を発揮できる職場環境の整備が必要です。

働きやすい職場環境整備のため市職員に対し、令和3年7月から旧姓使用制度を導入しました。

今後も、事業所に対し働き方改革やワーク・ライフ・バランスの推進等の啓発を行うとともに、個人に対しては一人ひとりのライフステージに合わせた多様な働き方の提案等を行い、仕事と家庭・地域生活との両立ができるような環境づくりに取り組みます。



III みんなが安心して生活できる社会の実現【地域社会】

高齢者、障害のある方、子育て家庭等の困難や悩みを抱える方への支援のため各種相談事業を実施しました。長期化するコロナ禍において相談体制を工夫し、必要とされる支援が確実に届くよう各部署間で連携を図りました。また、一人ひとりが心と体の健康の管理、保持、増進に取り組めるようメンタル関連や健康づくりに関する講座等の開催や相談及び情報発信、女性の検診事業等を実施しました。

ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメント等は人権侵害行為であることを様々な場面において周知啓発に努めるとともに、市民一人ひとりが安心して暮らせる環境をつくるため、女性相談・人権相談事業を実施しました。コロナ禍において相談事業の重要性はさらに高まっており、関係機関と連携を図りながら丁寧に取り組みました。

防災・復興支援対策には、体制づくりの段階から女性が参画し、男女共同参画の視点をもってすべての人にやさしい防災体制を築くことが重要です。子育て家庭のニーズに配慮した災害時の備蓄物資として、液体ミルク等の整備を行うなど、様々なニーズに配慮した備蓄物資を計画に沿って整備を行いました。

今後も、一人ひとりの人権が尊重され、心身ともに健康で、だれもが安心して生活ができる地域社会の体制づくりに取り組みます。

②事業一覧

推進目標Ⅰ みんなが力を発揮できる社会の実現【個人】

主要課題1 男女共同参画への理解の深化

施策の方向① 男女共同参画を知り、正しく理解する啓発の強化

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
男女共同参画講演会・映画上映会等の開催	男女共同参画推進事業として、講演会・映画上映会等を開催する。	政策創造課	映画上映会は感染症の影響により中止とした。代替として「人権フェスタ」内において男女共同参画パネル展を開催した。固定的な性別役割分担意識解消のため、性別の無意識な思い込み（アンコンシャス・バイアス）についての展示を実施した。「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思うかの参加型のコーナーを設置し、63名の参加があった。 日時：令和3年12月4日（土） 会場：桑名市民会館ロビー
男女共同参画基本計画概要版等の配布	男女共同参画基本計画概要版・男女共同参画啓発冊子・男女共同参画情報紙を窓口等に設置する。また講演会、講座開催時に配布する。	政策創造課	政策創造課が行なった啓発展示等で基本計画概要版等の啓発物品を配布した。
視聴覚教材（DVD、図書等）の貸出し	男女共同参画・人権に関するDVD・図書・ビデオの貸出しを行い、男女共同参画・人権意識の普及に努める。	政策創造課 生涯学習・スポーツ課 （図書館）	小中高生のためのキャリア・ロールモデル関連図書の紹介を行った。 期間：7月1日～8月24日 会場：中央図書館 貸出回数：219回 設置図書：82冊 「女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボン運動）」に関する啓発パネルの展示と関連図書の紹介を行った。 期間：10月28日～11月28日 会場：中央図書館 ふるさと多度文学館 長島輪中図書館 貸出回数：87回 設置図書：128冊 男女共同参画に関するパネルの展示と関連図書・DVDの紹介を行った。 期間：2月3日～3月8日 会場：中央図書館 貸出回数：168回 設置図書：103冊
		人権センター	新着図書やテーマ別の特集コーナーを設けて掲示する等、多くの方にご利用いただけるようPRに心がけた。 人権に関する視聴覚教材の貸出数 DVD：37本 図書：85冊

施策の方向② 男女共同参画についての調査・研究、情報提供

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
「広報くわな」への人権、男女共同参画に関する記事の掲載	テーマを設定し、男女共同参画に関する啓発記事を「人権シリーズ」に掲載することにより啓発を図る。	人権センター	広報くわな6月号・10月号の人権シリーズに男女共同参画に関する記事を掲載した。 （テーマ：性の多様性・LGBTと人権） 男女共同参画に関する記事の掲載回数：2回
国・県・他自治体等からの情報収集及び情報交換	内閣府、フレんてみえ等、国・県・他自治体等からの男女共同参画に関する情報の収集及び県内市町との情報交換を行う。	政策創造課	日本女性会議・フレんてみえ男女共同参画フォーラム等、オンライン、対面にて研修・会議に出席した。国・県・他自治体等が実施する事業に参加して内容等を学び、今後の事業の実施につなげていく。 研修・会議出席回数：12回
男女共同参画情報紙の発行	男女共同参画情報紙を発行し、市ホームページ等に掲載を行う。	政策創造課	男女共同参画情報紙「花みずき」を発行。市ホームページへの掲載、公共施設・市内中学校への設置、企業訪問等での配布を行った。 発行回数：年1回（3月発行） 内容：「チャレンジする女性たち」（様々な業種で働く女性）

男女共同参画に関する情報提供及び男女共同参画推進事業等の周知	広報、市ホームページ、チラシ、メールマガジン等で男女共同参画に関する情報提供及び開催事業等の周知を図る。	政策創造課	広報、市ホームページを活用し、市が主催する男女共同参画事業や、6/23～6/29の男女共同参画週間等の周知を図った。併せてメールマガジンの配信を行った。 広報・ホームページ掲載： 随時 メールマガジン配信回数：年12回
--------------------------------	--	-------	---

主要課題2 教育・学習の充実

施策の方向① 学校等における男女共同参画教育の推進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
教職員への研修講座の実施	各種研修講座（「学校経営特別講座」「SDGs教育」「人権教育講座（全2回）」）の開催を通じて、命を大切にす意識や人権意識等の向上を図る。	学校支援課 人権教育課	人権教育講座のうち1回は感染症拡大防止のため中止とした。 「学校経営特別講座」参加者： 151名 「SDGs教育講座」参加者： 16名 「人権教育講座 性の多様性」参加者：89名
中学生キャリア教育推進事業	市内中学校において、ゲストティーチャーを招いたり地域の事業所へ訪問するなど、子どもたちが将来の夢を抱き社会生活への展望を持つことをめざす。また「キャリアノートくわな」の「ふりかえりシート」等を活用しながら、活動や自身の学びを振り返ることで新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えていく。	人権教育課	市内中学校において、各中学校の実態に応じたキャリア教育に取り組んだ。学校において職業体験を実施したり、ゲストティーチャーを迎えキャリア教育講演会を実施したりするなど、自分の進路や将来について考える機会となった。今後も子どもたちのキャリアビジョンを豊かなものにできるよう、取り組みを行う。性別にとらわれない、それぞれの将来の夢や職業観の育成につなげていく。
人権に関する作文・ポスター・標語の募集	人権意識の高揚をめざし、市内全小中学生を対象に作文・ポスター・標語を募集し、児童生徒が人権について考える機会を持つ。また標語については市ホームページや広報を通じ、広く市民からも募集を行う。	人権教育課	桑名市民（小中学生含む）に対し、市ホームページや広報を活用し、幅広く作品を募集した。市内の学校からたくさん応募があり、性別にとらわれず個性を尊重するといった内容の作文やポスターが多くあった。今後も自分の思いを多くの人に届けることができる一つの機会として広く呼びかけていく。 応募総数：7,180点 （内訳）作文 2,807点 ポスター1,295点 標語 3,078点

施策の方向② 生涯を通じた学習機会の充実

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
人権学習会の開催	学級・講座・サークル生を対象に毎年1回人権学習会を開催する。その中で男女共同参画社会実現についても触れる。	生涯学習・スポーツ課 （パブリックセンター）	学級・講座・サークル生を対象とした人権学習会は感染症拡大防止のため中止としたが、サークル48団体を対象に人権啓発チラシ・ティッシュを配布し啓発に努めた。

主要課題3 政策・方針決定過程における男女共同参画の推進

施策の方向① 審議会・委員会等への女性の登用の推進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
委員会等委員選任基準の各課への通知（委員構成、推薦依頼の見直し等）	各課の所管する委員会等の状況調査をする際に、委員の選任基準について併せて周知する。	総務課	4月1日時点の各課の所管する審議会・委員会等の状況調査をするとともに、多様な人材の登用につながるよう委員の上限年齢の選任基準を廃止し、新たな選任基準について周知徹底した。女性委員の積極的登用を呼びかけ、女性登用率の上昇につなげる取り組みを行った。専門色の強い分野の審議会・委員会等においては構成員に女性が少ないなどの原因により、女性登用率の上昇につなげることができない審議会・委員会等があった。
審議会等への女性登用の働きかけ	登用目標の設定や「桑名市附属機関等の設置及び運営に関する指針」に基づき具体的な取り組みが行われるよう働きかけるとともに、定期的に調査を行うなど、現状把握を行う。	政策創造課	市審議会等の女性登用率は、32.5%（2年度31.0%）であり、登用率は上昇となった。これまで5割程度であった登用率30%以上の審議会等の割合が6割を超えた。今後も関係各課へ聞き取り等を行い、審議会等への女性登用を働きかける。
審議会等への女性参画比率の向上	個々の審議会、各種委員会等の委員登用について、男女がともに参画できるように、登用目標に向けそれぞれに働きかけを行う。	関係各課	政策方針決定過程における男女共同参画を図るため、市における審議会等の女性登用に努めた。 令和3年度女性登用率：32.5%

施策の方向② 男女共同参画の視点に立った人材の育成・確保

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
人材育成講座等の開催	男女共同参画を推進する人材を育て、確保していくため人材育成講座等を開催する。	政策創造課	人材育成講座として「心と体のストレス対処法」を開催した。 対面開催の予定であったが、感染症拡大防止のため急きょオンラインに変更し開催。日々のストレス、ひいてはコロナ禍のストレスとの付き合い方、対処法について学ぶことで、地域・職場で自分らしくいきいきと活躍できる人材の育成を目的に実施した。 日時：令和4年1月22日（土） 受講者数：21名 講義講師：伊藤厚子（臨床心理士） 顔ヨガ：小野有美子 （パランスホール・顔ヨガインストラクター）

主要課題4 家庭や地域における男女共同参画の促進

施策の方向① 家庭における男女共同参画のための啓発

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
男性講座の開催	男性の家事・育児等の参画促進につなげるための講座を開催する。	政策創造課	男性講座として「家族みんなで「楽」家事シェア!オンラインセミナー」を開催した。家族で参加できる内容とし、固定的な性別役割分担意識の解消、男性の家庭・地域での活躍を後押しするため、男性の家事育児参画、家族での家事分担の考え方や進め方について学んだ。4組ほどが家族で参加いただいた。 日時：令和4年2月19日（土） 受講者数：10名（男性4名） 講師：山田 亮 （家事ジャーナリスト 楽家事ゼミ主宰） また同時期に中央図書館での男女共同参画パネル展にて、男性の家事育児参画・家族での家事シェアコーナーを開設し啓発を行った。
	家庭料理等を学習し、興味を持ってもらうことで男性の家事参画促進につなげる。 「男の料理講座」	生涯学習・スポーツ課 (パブリックセンター)	市主催の男性講座は、受講希望者の減少により開講基準に満たなかったため令和3年度以降開催中止となった。 家庭における男女共同参画啓発のため、自主的に活動している料理・パンづくりの男性サークルを今後もサポートしていく。
ファミリータイムの開催	未就園児のパパや祖父母も含み、遊びの場、交流の場として、支援センター2カ所で月1回開催する。	子ども未来課	支援センター2カ所にて、わらべうた遊び、ふれあい遊び、手作りおもちゃづくり等のファミリータイムを月1回開催した。父親の参加も多くなってきており、父親の育児参画の現状を把握しつつ、家族で子育てを楽しめるようなヒントや遊びの紹介を行った。 開催回数：24回 参加組数：442組 (うち男性参加組数140組)

施策の方向② 地域活動への参加の促進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
自治会等地域活動への男女共同参画の推進	地域活動の情報提供を行うとともに、自治会、各種団体等に対して男女共同参画・人権の啓発と情報提供を行う。	地域コミュニティ課	関連するチラシなどをパンフレットラック等に配置し情報提供に努めた。今後も情報提供に努め、地域活動への参加意識を高めていきたい。

推進目標Ⅱ 働きやすい社会の実現【職場】

主要課題1 男性中心型労働慣行の見直しとワーク・ライフ・バランスの推進

施策の方向① 柔軟な就労形態と働き方改革の推進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
国・県・他自治体からの情報収集及び職員への啓発	国・県・他自治体からの情報収集及び職員への啓発を行う。	人事課	国・県・他自治体からの情報収集に努めた。また時差出勤勤務制度、テレワーク制度などについて職員に向け啓発・利用促進を行った。
ノー残業デーの促進	残業削減等に関する取り組みとしてノー残業デーを設定し、毎週水・金曜日の執務終了後庁内の巡回を行う。	人事課	毎週水曜日、金曜日の業務終了前に職員パソコンへのノー残業デーの通知及び業務終了後に庁内の巡回を実施し、時間外削減に向けた取り組みを行った。

施策の方向② 仕事と家庭・地域生活との両立支援

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
乳幼児一時預かり事業	一時預かり事業 未就園児の保護者の緊急時やリフレッシュ等で、児童の保育を必要とする際の保育を実施する。 時間延長型保育・休日保育サービス事業 保護者の就労支援のため、通常の保育時間を超えて就労時間等に合わせた保育を実施する。 病児保育事業 急に子どもが病気の際、仕事を休めない保護者に代わって子どもを預かる乳幼児健康支援一時預かり事業を行う。	子ども未来課	一時預かり事業は公立施設では6か所で実施。うち1か所は商業施設内にある子育て支援センターで行っている。その他、延長保育や休日保育等、保護者の就労形態に対応できるように、様々な保育サービスを提供している。また病児保育は2か所で実施しており、近隣市町からの受け入れも行っている。 利用者数 一時預かり：1, 538名 延長型保育：3, 829名 休日保育：153名 病児保育：323名
ファミリーサポート事業	保育施設への送迎、保育終了後、学童終了後等の預かり、他の預かりや病児、緊急対応の預かり等の援助活動を行う。育児サポーター養成講座の開催や援助会員の交流会等も実施する。	子ども未来課	ニーズは高く、依頼会員が増える傾向だが援助会員の数は横ばい状態が続いている。援助会員の増加につながるよう、事業のわかりやすく丁寧な紹介や、養成講座受講者、援助会員のサポートに取り組んだ。 依頼会員：623名 援助会員：104名 両方会員：22名 活動件数：1, 332件
放課後児童対策事業（学童保育）	共働き家庭等の児童が放課後安心できる生活の場として、学童保育所の需要は増加傾向である。既存の設置場所では受け入れが困難になりつつある学童保育所について、必要に応じて施設の増設や公共施設への移転整備を行う。	子ども未来課	児童数の増加した地区へ施設の新設・移転を行った。年々需要が高まっているため、引き続き施設の受入体制の強化や移転等を検討し整備を行う。 新設：3か所 移転：2か所 累計：37か所
育児・介護休業制度の周知、活用促進	市内事業所を訪問し、育児・介護休業制度等の啓発パンフレット等を配布する。また市ホームページにより周知・啓発を行う。	政策創造課	桑名市男女共同参画推進事業及び各種制度の案内とともに、企業訪問を行った。 訪問企業数：8社 多様で働きやすい職場環境づくり支援のため「ダイバーシティ経営で会社の未来を考える講演会&ワークショップ(オンライン)」を(公財)三重県産業支援センター・三重県との共催で開催した。 参加企業：3社
		商工課	10～50人規模の事業所を対象に実施した企業訪問時に、CSR(企業の社会的責任)の冊子等を配布した。また市ホームページにより周知・啓発を行った。 訪問企業数：100社

職員への育児・介護休業制度の周知	子育て支援、介護支援の観点から職員へ市役所における育児休業、介護休暇制度の周知に努める。	人事課	出産・育児・介護に関する休暇制度について、職員に向け広く周知している。対象者・相談者にはより詳細に制度について説明を行った。 男性新規育児取得人数： 3名 男性新規育児取得対象人数： 26名 男性育児取得率： 11.5%
議員に対する出産・育児・介護等に伴う欠席規定の整備	子育て支援、介護支援の観点から議員に対する出産・育児・介護等に伴う欠席規定の整備を行う。	議会事務局	令和3年3月に桑名市議会会議規則を改正し、議員の出産・育児・介護等に伴う欠席規定について整備を行った。
事業所への啓発パンフレット等の配布	市内事業所を訪問し、ワーク・ライフ・バランス等の啓発パンフレット等を配布する。また市ホームページにおいて就業者・事業者への制度や関係法令等の周知・啓発を行う。	政策創造課	桑名市男女共同参画推進事業及び各種制度の案内とともに、企業訪問を行った。 訪問企業数：8社 多様で働きやすい職場環境づくり支援のため「ダイバーシティ経営で会社の未来を考える講演会&ワークショップ(オンライン)」を(公財)三重県産業支援センター・三重県との共催で開催した。 参加企業：3社
		商工課	10～50人規模の事業所を対象に実施した企業訪問時に、CSR(企業の社会的責任)の冊子等を配布した。また市ホームページにより周知・啓発を行った。 訪問企業数：100社

施策の方向③ 男女が働きやすい職場環境の整備

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
事業所への男女共同参画に関する情報提供	市内事業所を訪問し、事業者が男女共同参画に取り組んでもらえるよう、取り組み事例の紹介など、理解の促進を図る。	政策創造課	桑名市男女共同参画推進事業及び各種制度の案内とともに、企業訪問を行った。 訪問企業数：8社 多様で働きやすい職場環境づくり支援のため「ダイバーシティ経営で会社の未来を考える講演会&ワークショップ(オンライン)」を(公財)三重県産業支援センター・三重県との共催で開催した。 参加企業：3社
職員への旧姓使用制度の周知	働きやすい職場環境整備の観点から、市役所における旧姓使用制度の周知に努める。	人事課	旧姓使用制度について、職員に向け広く周知している。職員の婚姻等による届け出の際に、旧姓使用制度について周知を行った。 旧姓使用 男性：0名 女性：7名

主要課題2 就労の場における男女共同参画の促進

施策の方向① 男女の均等な機会と待遇の確保の促進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
雇用機会均等法、労働基準法等の周知	市内事業所を訪問し、雇用機会均等法、労働関係法等の啓発パンフレット等を配布する。また窓口を設置する。	政策創造課	桑名市男女共同参画推進事業及び各種制度の案内とともに、企業訪問を行った。 訪問企業数：8社 多様で働きやすい職場環境づくり支援のため「ダイバーシティ経営で会社の未来を考える講演会&ワークショップ(オンライン)」を(公財)三重県産業支援センター・三重県との共催で開催した。 参加企業：3社
		商工課	10～50人規模の事業所を対象に実施した企業訪問時に、CSR(企業の社会的責任)の冊子等を配布した。 訪問企業数：100社
各種研修機関への職員派遣	性別に関わらず幹部候補育成研修等、各種研修機関へ職員を派遣する。	人事課	職員の研修参加について性別に関係なく募集を行い、積極的に自己啓発に努めるよう働きかけた。今後も幅広く参加の呼びかけを行う。 派遣人数：118名 女性派遣人数：45名

施策の方向② 方針決定過程への女性の登用推進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
市の管理職への女性登用促進	様々な視点からの意思が反映されるために施策の企画・立案決定過程への女性職員の登用に努める。	人事課	性別に関わらず様々な立場の意思が反映できるような人材登用を継続して行った。 市の女性管理職登用率：22.9% (昨年度登用率：22.2%)

施策の方向③ 職業能力の開発や再就職への支援

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
再就職等に関する情報提供	窓口等に再就職等に関するパンフレット等を設置する。関係機関と連携し、女性の多様な働き方の提案や企業の求人等の再就職に役立つ情報を提供する。	政策創造課	「女性の就職サポート事業」を(公財)三重県産業支援センター・三重県との共催でオンライン形式にて開催した。企業との交流セミナー、面接セミナーへの参加、キャリアデザイン、パソコンスキル等講座の受講により能力開発、再就職支援に努めた。 期間：7月28日～11月30日 受講者数：延べ64名
		商工課	窓口等に啓発チラシ、ハローワークの求人情報を設置した。感染症の影響により厳しい状況が続いているため、今後も情報提供に努める。

施策の方向④ 家庭的経営における働きの評価と、仕事と生活の調和の促進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
家族経営協定の締結、農業年金への加入促進	女性農業者の就労条件等の向上を図るため、家族経営協定の締結と、農業者年金への加入を呼びかける。	農林水産課	窓口パンフレットを設置するとともに、研修会・総会時に資料を配布した。 家族経営協定新規締結：2件 年金新規加入：1名
家内労働法等の周知	窓口等に家内労働等の啓発チラシ等を設置する。	商工課	窓口等に啓発チラシを設置した。感染症の影響により厳しい状況が続いているため、今後も情報提供に努める。

施策の方向⑤ 女性活躍推進法の周知

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の周知	市内事業所を訪問し、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律の周知を行う。	政策創造課	桑名市男女共同参画推進事業及び各種制度の案内とともに、企業訪問を行った。 訪問企業数：8社 多様で働きやすい職場環境づくり支援のため「ダイバーシティ経営で会社の未来を考える講演会&ワークショップ(オンライン)」を(公財)三重県産業支援センター・三重県との共催で開催した。 参加企業：3社
		商工課	10～50人規模の事業所を対象に実施した企業訪問時に、CSR(企業の社会的責任)の冊子等を配布した。 訪問企業数：100社

施策の方向⑥ 女性の起業及びキャリア形成への支援

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
女性活躍推進事業	企業や様々な団体との連携も含め、女性活躍推進の取り組みを行う。	政策創造課	「女性の就職サポート事業」を(公財)三重県産業支援センター・三重県との共催でオンライン形式にて開催した。企業との交流セミナー、面接セミナーへの参加、キャリアデザイン、パソコンスキル等講座の受講により女性のキャリア形成の支援に努めた。 期間：7月28日～11月30日 受講者数：延べ64名

推進目標Ⅲ みんなが安心して生活できる社会の実現【地域社会】

主要課題1 人権が尊重され、安心して生活できる施策の推進

施策の方向① 人権に対する正しい理解の促進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
人権フェスタの開催（人権を考える意見発表会含む）	すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現をめざして人権フェスタを開催し、人権問題に関する講演会や様々な啓発活動を実施する。	人権センター 人権教育課	感染症拡大防止対策を講じ「人権フェスタinくわな」「人権を考える意見発表会」等を開催した。講演会では、高齢者と女性の人権について講師の経験を踏まえ講演いただいた。意見発表会では、性別や障害にとらわれない生き方等についての発表がなされた。 日時：令和3年12月4日（土） 会場：桑名市民会館 人権講演会 講師：住田裕子（弁護士） 演題「誰もが輝ける社会に向けて…高齢者だから、女性だからNG！」 （来場者数：431名） 人権を考える意見発表会 （来場者数：180名） 総参加者数：658名
啓発冊子「なかま」の作成及びイベント等での配布	小中学生や市民の応募による、人権に関する作文・ポスター・標語を集録した冊子「なかま」を作成し、市内各小中学校及び公共施設の窓口やイベント等で配布し、人権について広く市民に啓発する。	人権教育課	感染症拡大防止による「人権を考える意見発表会」の規模縮小のため、冊子作成数を例年より減らし参加者へ配布した。また小中学校及び公共施設等へ設置を行った。多くの人に読んでもらえるような配布方法、活用方法を工夫しながら、今後もさらなる人権啓発に取り組んでいく。 配布数：300冊 （内訳）人権を考える意見発表会190冊 小中学校 44冊 公共施設 16冊 街頭・窓口啓発 50冊

施策の方向② 困難を抱える方への支援策の充実

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
手話通訳等設置、派遣事業	聴覚障害者等を対象に、日常生活や社会生活の場でコミュニケーションが円滑に行なわれるよう手話通訳者・要約筆記者を派遣するとともに、手話通訳員を窓口を設置する。	障害福祉課	聴覚障害者等とのコミュニケーションの円滑化のため、派遣依頼に基づき手話通訳奉仕員、要約筆記者の派遣を行っている。市役所内外において各種手続きや相談などに寄与している。 手話窓口対応件数：154件 手話通訳者派遣人数：延べ378名 要約筆記者派遣人数：延べ37名
地域包括支援相談事業	地域包括支援相談員が、ニーズ調査の「閉じこもりリスクのある高齢者」該当者、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を訪問し、生活や介護等による悩み相談を聞き、必要に応じて福祉・介護サービスが受けられるよう関係機関と連絡調整を行う。	介護高齢課	地域包括支援相談員が、ニーズ調査の「閉じこもりリスクのある高齢者」該当者、ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯等を訪問し、生活や介護等による悩み相談を聞き、必要に応じて福祉・介護サービスが受けられるよう関係機関と連絡調整を行った。感染症の長期化により支援を必要とする人が増え相談件数が増加した。 延べ訪問件数：1,171件
障害者相談事業	障害者のあらゆる相談に応じ、アドバイスを行う。 ①障害者総合相談支援センター そういん（委託） ②障害者総合相談支援センター くわな（委託） ③桑名市社協障害者相談支援センター（委託） ④精神障害者家族相談（委託）	障害福祉課	各機関において、障害者の生活全般等に関する相談を行った。また精神障害者及びその家族の相談を行った。相談件数は増加傾向である。 相談件数 ①：11,139件 ②：1,728件 ③：613件 ④：241件

育児相談事業	妊産婦や乳幼児の保護者に対して保健師・管理栄養士による育児相談・離乳食相談等を実施する。	子ども総合センター	広報や子育て情報のメールマガジンなどで育児相談事業の案内を実施して、定期的に開催した。相談は待ち時間短縮のため予約制とし、会場での感染予防に努めた。 開催回数： 19回 相談件数： 356件
子ども総合相談事業	子どもの総合相談（発達検査を伴うもの）や18歳までの子どもに関するあらゆる相談に対応する。また障害児福祉サービスの相談にも対応する。 電話相談、面接相談（随時）	子ども総合センター	発達検査枠を約1.5倍に増加し、検査までの待ち時間の短縮に努めた。 障害児福祉サービス相談の一部が社会福祉協議会に移管されたためでの相談件数が減少となった。 子どもの発達相談件数： 1,678件 障害児福祉サービス相談件数： 547件
教育相談	市内の幼児・児童・生徒及び保護者の教育上の悩みについて相談に応じる。 臨床心理士・特別支援教育士・認定臨床心理療法士による面接相談	学校支援課	教育相談・発達相談とも需要は高く予約枠がすぐに埋まるため、相談までのスケジュール管理に注意し実施している。 相談件数： 363件 （内訳） 臨床心理士による面談相談： 123件 特別支援教育士による面談相談： 84件 認定臨床心理療法士による面談相談： 156件
健康相談事業	地域活動の中で、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士等が健康相談や栄養相談等の専門相談を実施する。	保健医療課	感染症の影響で地域活動が中止・縮小となる場合があり、相談が減少した。 相談数： 218名 （男性105名 女性113名）
くわな健康・医療相談ダイヤル24	健康・医療・介護・育児・医療機関情報についての24時間年中無休の電話相談サービスを行う。	保健医療課	電話相談サービスの委託契約を行い、市民に対しての24時間の相談体制を確保し、サービスを提供した。感染症についての相談を増加に見込んでいたが、保健所やその他コールセンターの利用へ分散されたため、例年並みの相談件数であった。 相談件数： 5,311件

主要課題2 健康づくりへの支援

施策の方向① 生涯にわたる健康づくりへの支援

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
健康に関する各種教室の開催	市民の健康づくりのための各種教室を開催する。	保健医療課	昨今の情勢に合わせてテーマを設定し、実施した。感染症の影響で中止となった事業があった。 メンタルパートナー養成講座： 1回 参加者数： 28名 （男性17名 女性11名） 各地での講話等： 143回 参加者数： 2,133名 （男性540名 女性1,593名）
「広報くわな」への健康づくりに関する記事の掲載	健康づくりに関する各相談事業や教室に関する記事を「広報くわな」の「すこやか情報局」に掲載することにより、啓発及び情報提供を図る。	保健医療課	感染症の影響で中止となる事業があり、記事の掲載回数を減らした。今後、広報に加え市ホームページやメールマガジン等での随時周知に努める。 掲載内容： 健（検）診、予防接種等 掲載回数： 11回
女性の検診事業の充実	女性の健康づくりのため、乳がん検診・子宮がん検診等を実施する。	保健医療課	感染症の影響による受診控えもなく、概ね計画通りであった。今後もがん検診の周知啓発や受診しやすい体制整備が必要である。 乳がん検診受診率： 9.6% （2,747名／対象者28,736名） 子宮がん検診受診率： 19.2% （5,530名／対象者28,736名）

施策の方向② 妊娠、出産期等（産後も含む）における女性の健康への支援

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
妊婦一般健康診査の充実	安心・安全に妊娠期を過ごし出産ができるよう妊婦一般健康診査（14回助成）、産婦健診（2回助成）を実施する。	子ども総合センター	母子健康手帳交付時に助成券を交付し、受診勧奨を実施。 母子健康手帳交付数：906件 妊婦健康診査：延べ11,147件 産婦健康診査：延べ1,371件
不妊治療費助成事業	不妊治療を行っている世帯の経済的な負担の軽減を図ることによって、出生数の増加につなげる。 ①コウノトリ支援事業（市単） ②特定不妊治療費助成事業（県） ③桑名市特定不妊治療費助成事業（県補助） ④桑名市一般不妊治療費助成事業	子ども未来課	不妊治療を受けている世帯の経済的な負担の軽減を図り、出生率の増加につなげる。令和3年3月に助成額と助成対象の拡大等の制度改正があったため、申請が前年度に比べて大幅に増加した。 申請件数：853件 （内訳）①申請件数：192件 ②申請件数：444件 ③申請件数：191件 ④申請件数：26件

主要課題3 男女共同参画を阻む暴力の根絶

施策の方向① ドメスティック・バイオレンス、各種ハラスメント等の防止・啓発の推進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
啓発資料の配布及びポスターの掲示	DV防止法、セクハラ防止等の啓発チラシ等の配布及びポスターの掲示を行う。女性法律相談時、イベント開催時、企業訪問時及び窓口等で、啓発チラシや相談窓口一覧等の資料を配布する。	政策創造課	フレンテみえ相談事業案内をはじめ様々な事業案内チラシを配布した。今後も設置、掲示場所等を工夫し啓発を行う。 配布部数：52部 内訳：女性法律相談者52名
		人権センター	展示室等にDV等女性問題についてのリーフレット・ポスターを設置し、広く周知を図った。人権を確かめあう日や人権週間には幅広く人権に関する街頭啓発を実施した。
		商工課	10～50人規模の事業所を対象に実施した企業訪問時に、CSR（企業の社会的責任）の冊子等を配布した。 訪問企業数：100社
		子ども総合センター	ポスターの掲示、リーフレットや「女性に対する暴力をなくす運動」のポケットティッシュの窓口設置による啓発を行った。
「女性に対する暴力をなくす運動」の広報啓発	内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボン運動）」（11/12～11/25）のポスター等の掲示・配布及び市ホームページへの掲載を実施する。パープルリボン運動の周知・啓発のため、市内の図書館において関連図書特集等を行う。	政策創造課 生涯学習・スポーツ課 （図書館）	「女性に対する暴力をなくす運動（パープルリボン運動）」のポスターの掲示、チラシの配布等により啓発を行った。また10月28日から11月28日まで中央図書館・ふるさと多度文学館・長島輪中図書館にて、フレンテみえが開催するパープルリボン運動と連携し、啓発パネルの展示と関連図書の紹介を行った。

施策の方向② 相談体制、被害者救済体制の充実

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
女性相談事業	ポスター掲示・パンフレット配布等で相談窓口の周知を図る。DV、離婚等の相談に随時対応し、関係機関と連携を図る。	子ども総合センター	女性相談員が女性相談の通常業務に加え、新型コロナ給付金申請時のDV避難者への対応業務を行った。国のDV相談窓口設置により市のDV相談は減少した。 相談件数：1,163件（新規110件） （DV関係451件）
女性弁護士による女性法律相談	女性弁護士による女性法律相談を実施する。（年12回開催）	政策創造課	女性法律相談を毎月（年12回：定員5名）開催した。支援が必要な人に情報が届くように、関係所管と連携し事業を進めていく。 相談者数：52名 申込者数：71名

人権相談事業	人権センター職員が実施するDVやセクハラなどの随時相談及び人権擁護委員による特設人権相談を実施する。	人権センター	人権擁護委員による特設人権相談を桑名・長島・多度で毎月1回計36回実施した。市職員による人権相談は随時実施した。相談件数：51件
桑名市要保護児童及びDV対策地域協議会	相談・支援体制を充実すべく実務者会議を開催し、情報を共有するとともに、関係機関との連携を強化し、施策の展開を図る。	子ども総合センター	関係機関による代表者会議、実務者会議を各1回開催し児童虐待の情報共有を行った。またケースの進行管理についての協議会を年4回開催した。会議・協議会開催回数：計6回
DV、ストーカー被害者への支援措置	DV及びストーカー被害者保護のため、警察等と連携し、関係法律に基づいて必要な支援措置を行う。	戸籍・住民登録課	支援措置が必要とされた場合には早期対応を行い、福祉事務所、関係市町村等、関係機関と連絡をとりながら被害者保護のための措置を行っている。

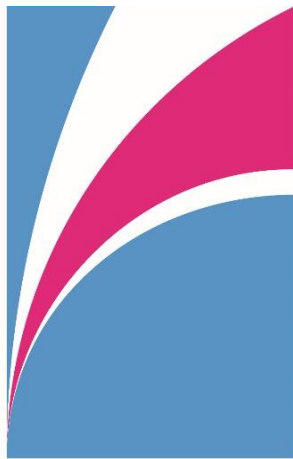
主要課題4 男女共同参画の視点に立つ、地域の課題解決への取り組み

施策の方向① 地域における男女共同参画の促進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
性別に関わらず地域活動等への参画を促す啓発	新しい地域コミュニティ組織の形成に当たり、性別に関わらず参画してもらえよう、具体的な設立手順や活動方法の一例を示す設立ハンドブック等で啓発を行う。	地域コミュニティ課	地域における話し合いの中で、女性への積極的な声かけ等を明記した『新しい地域コミュニティ組織「(仮称)まちづくり協議会」設立ハンドブック[暫定版]』を配布し、地域で活用いただいている。感染症の影響もあり地域活動への参加自体が難しい状況であるが、積極的に情報提供に努め、地域活動への参加意識を高めていきたい。
民生委員・児童委員への男女のバランスのとれた登用推進	民生委員・児童委員を男女のバランスのとれた委員構成にし、男女双方の意見が反映できるように登用を働きかける。	福祉総務課	女性の委員数の割合が高くなっている。性別に関わらず多様な人材が登用されるよう働きかけを行っていく。 民生委員・児童委員数：251名 内訳 男性：87名 女性：164名
保護司会団体への積極的な女性登用推進	保護司会団体へ女性を積極的に登用するよう働きかける。	福祉総務課	女性保護司の人数がまだまだ少ない。今後も積極的に女性保護司の登用を促進していく。 保護司：41名（内女性9名）

施策の方向② 防災・復興支援対策における男女共同参画の推進

事業名	事業内容	担当課	令和3年度実施事業概要
あらゆるニーズに配慮した備蓄物資の整備	様々な立場で異なるニーズや子育てで家庭等のニーズに配慮した備蓄物資を整備する。	防災・危機管理課	災害時の断水等を想定し、液体ミルク、使い捨て哺乳瓶を備蓄している。液体ミルクの賞味期限が短いことから、毎年購入し管理を徹底している。様々なニーズに配慮した備蓄物資を計画に沿って整備している。
女性消防団員の育成事業	女性消防団員を確保するため、各種媒体を活用し、女性団員の募集を行うとともに、教育訓練（応急手当の知識習得等）を実施し、女性消防団員の育成を図る。	消防本部	広報・市ホームページ・Twitter等を利用して、女性消防団員の募集を実施している。今後もPR方法・内容を工夫し団員確保に努める。 女性消防団員数：10名



本物力こそ桑名力

桑名市男女共同参画基本計画
令和3年度 実施計画実施報告書

桑名市 女性活躍・多文化共生推進室
〒511-8601 三重県桑名市中央町二丁目37番地
TEL 0594-24-1413